



file コマンド

- [file build log](#) (1 ページ)
- [file check](#) (5 ページ)
- [file delete*](#) (6 ページ)
- [file dump*](#) (8 ページ)
- [file fragmentation sdi*](#) (10 ページ)
- [file fragmentation sdl*](#) (12 ページ)
- [file get*](#) (13 ページ)
- [file list*](#) (17 ページ)
- [file search*](#) (19 ページ)
- [file tail*](#) (21 ページ)
- [file view*](#) (23 ページ)

file build log

このコマンドは、サービスごとのログ情報や機能および期間を収集します。

file build log *service/feature duration*

構文の説明	パラメータ	説明
	<i>service/feature</i>	ログ情報を取得するコンポーネントまたは機能エリアを指定します。
	<i>duration</i>	取得されるログ情報から、時間帯、測定された日数を指定します。
コマンドモード	管理者 (admin:)	
使用上のガイドライン	要件	
	コマンド特権レベル：	
	アップグレード時の使用：	

例

このコマンドは、Client Profile Agent のログを収集します。

```
admin: file build log cpa 10
Collecting logs
```

```
Collecting: logname1.txt
Collecting: logname2.txt
```

```
To retrieve run the following command:
file get epas/trace/acdc_2012-06-28-111258.tar.gz
```

このコマンドは、xml 構成で定義されているすべてのログを収集します。

```
admin:file build log all
Collecting logs
```

```
Collecting: logname1.txt
Collecting: logname2.txt
```

```
To retrieve run the following command:
file get epas/trace/acdc_2012-06-28-111258.tar.gz
```

このコマンドは、複数のサービスのログを収集します。

```
admin:file build log dbmon cpa
Collecting logs
```

```
Collecting: logname1.txt
Collecting: logname2.txt
```

```
To retrieve run the following command:
file get epas/trace/acdc_2012-06-28-111258.tar.gz
```

このコマンドは、ヘルプを表示します。

```
admin:file build log ?
Syntax:
file build log [serviceName [serviceName] ..]
```

```
Service Names:
FullName                               ShortName

cisco_client_profile_agent             cpa
cisco_database_layer_monitor           dbmon
cisco_audit_logs                       audit
cisco_ris_dat_collector                risdc
```

このコマンドは、導入に関する情報を表示します。

```
admin: file build log deployment info 0
```

```
DB Queriesmay take up to 5 minutes to complete. Please be patient...
About to start queries for deployment data... please wait...
```

```
-----
Gathering CUCM Version...
ccmversion
11.0.1.100000(9)
```

```
-----
Gathering CUCM Publisher Node
ccmpublisherhostname
gwydlg050498vm1
-----
```

```
Gathering Rosters table...
rosters
3032681
-----
Gathering Groups table...
groups
1518966
-----
Gathering Non-Presence contacts...
nonpresencecontacts
502573
-----
Gathering Number of inter-cluster users...
enduser
0
-----
Gathering CUCM Nodes in cluster...
processnode
2
-----
Gathering CUCM Node names in cluster...
name
EnterpriseWideData
processnode
gwydlg050408vm1
-----
Gathering IM&P nodes in cluster...
processnode
2
-----
Gathering XCP Routing Node...
paramvalue
t
-----
Gathering Exchange Calendaring...
pebackendgateway
-----
Gathering SIP Inter-domain Federation...
domainname

paramvaluegwydlg050408vm2-public.cisco.com
-----
Gathering XMPP Inter-domain Federation...
xmpps2ssnodes
0
-----
Gathering Intra-domain Partitioned Federation...
enablepartitionedfedwithacs
f
-----
Gathering Inter-cluster Peering...
cupsinterclusterpeers
-----
Gathering Message Archiver...
pkid
8fede7a9-b6a6-4ad4-8da6-b8ea4c8d5411
databasetype
Postgres
databasename
tcmadb
name
gwydlg050408vm2
tknodeusage
```

```

0
tkprocessnoderole
2
nodeid
3
-----
Gathering Third-party compliance...
ftextdbprocessnodemap
0
-----
Gathering Persistent Chat...
enablepersistentgear
t
databasetype
Postgres
datanasename
tcmadb
name
gwydlg050408vm2
tknodeusage
0
tkprocessnoderole
2
nodeid
2
-----
Gathering Advanced File Transfer...
tkfiletransfer
2
databasetype
Postgres
databasename
tcmadb
name
gwydlg050408vm2
tknodeusage
0
tkprocessnoderole
2
nodeid
3
-----
Gathering AD Groups...
paramvalue
t
-----
Gathering XEP-198...
paramvalue
t
-----
Gathering DB Replication Status...
replicationdynamic
2
Services on this node that currently have debug logging enabled are:

Cisco Presence Engine
Cisco DRF Local
Cisco XCP File Transfer Manager

Collecting Logs for deployment_info

Collected: platformConfig.xml
Collected: deployment_info.xml
Collected: system_info.txt

```

```
To retrieve the logs, run the following CLI Command:
file get activelog epas/trace/log_2015-08-17-154010.tar.gz
To maintain a stable system it is recommended that you remove the file after retrieval.
To do this run the CLI Command:
file delete activelog epas/trace/log_2015-08-17-154010.tar.gz
Please Note: Debug logging is not enabled for any of the files you have retrieved
```

file check

このコマンドは、/usrディレクトリツリー内で、最新の新規インストールまたはアップグレードの後で追加、削除、またはサイズが変更されたファイルまたはディレクトリがないかどうかを調べ、結果を表示します。

file check [*detection-size-kb*]

構文の説明

パラメータ	説明
<i>detection-size-kb</i>	ファイルのサイズがこれ以上変化したときに、ファイルが変更されたとして表示される値です。 デフォルト値：100 KB。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があることが通知され、続行するかどうか質問されます。削除されたファイルと新しいファイルの両方が表示されます。



注意

このコマンドはシステムのパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、ピーク時間帯以外の時間にコマンドを実行することをお勧めします。

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：不可

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file delete*

file delete

このコマンドは、アクティブ側または非アクティブ側のログを削除します。

file delete {**activelog** | **inactivelog** | **install**} *file-spec* [**detail**] [**noconfirm**]

構文の説明

パラメータ	説明
activelog	アクティブ側のログを指定します。
inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
install	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	削除するログまたは複数のログのパスとファイル名を指定します（インストール ログ ファイルを含む）。
detail	削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。
noconfirm	削除のたびに確認を求めることなくファイルを削除します。

コマンド モード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file delete tftp

このコマンドは、TFTP ファイルを削除します。

file delete tftp *file-spec* [**detail**] [**noconfirm**]

構文の説明

パラメータ

file-spec TFTP ファイル名を表します。

detail 削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。

noconfirm 削除のたびに確認を求めることなくファイルを削除します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file delete dir tftp

このコマンドは、TFTP ディレクトリを削除します。

file delete dir tftp *dir-name* [**detail**]

構文の説明

パラメータ

dir-name 削除する TFTP ディレクトリを指定します。

パラメータ	説明
detail	削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file dump*

file dump

このコマンドは、ログやページの内容を一度にダンプします。

file dump {**activelog** | **inactivelog** | **install**} *file-spec* [**hex**] [**recent**] [**regex** *expression*]

構文の説明

パラメータ	説明
activelog	アクティブ側のログを指定します。
inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
install	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	ダンプするログ ファイルの数を表します。
hex	出力を 16 進数で示します。

パラメータ	説明
recent	ディレクトリで最近変更されたファイルをダンプします。
regex <i>expression</i>	ファイル中の正規表現 <i>expression</i> に一致する行だけを表示します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例

このコマンドは、ファイル `_cdrIndex.idx` の内容をダンプします。

```
admin: file dump activelog cm/cdr/_cdrIndex.idx
```

file dump sftpdetails

このコマンドは、SFTP コンテキスト内のダンプするファイルを指定します。ダンプするファイルは選択できます。

file dump sftpdetails

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

SFTP 関連ファイルをすべてダンプするには、**a**を入力します。このコマンドを終了するには、**q**を入力します。

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file dump tftp

このコマンドは、TFTP ファイルの内容を 1 ページずつ画面にダンプします。

```
file dump tftp file-spec [page] [detail] [hex]
```

構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	TFTP ファイルの名前を表します。
page	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
detail	日付と時刻をリスト表示します。
hex	出力を 16 進数で表示します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン



(注) *file-spec* は、単一のファイルに解決される必要があります。

要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file fragmentation sdi*

file fragmentation sdi

このコマンドは、SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

```
file fragmentation sdi most {fragmented | recent} [number]
```

構文の説明

パラメータ	説明
most fragmented	フラグメンテーションが最も激しいログ ファイルを表します。
most recent	最新のログ ファイルを表します。
<i>number</i>	リスト表示するファイルの数を表します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file fragmentation sdi file

このコマンドは、SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

file fragmentation sdi file *filename* [**verbose**]

構文の説明

パラメータ	説明
<i>filename</i>	SDI ログ ファイル名を表します。
verbose	画面に関する詳細情報を表示します。

コマンド モード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file fragmentation sdi all

このコマンドは、ディレクトリ内のすべての SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

file fragmentation sdi all *filename*

構文の説明

パラメータ	説明
<i>filename</i>	すべてのフラグメンテーションの詳細を表示する SDI ログ ファイル名を指定します。

コマンド モード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

file fragmentation sdl*

file fragmentation sdl

このコマンドは、フラグメンテーションが最も激しいSDL ログファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

file fragmentation sdl most {fragmented | recent} [number]

構文の説明	パラメータ	説明
	most fragmented	フラグメンテーションが最も激しいログ ファイルを表します。
	most recent	最新のログ ファイルを表します。
	<i>number</i>	リスト表示するファイルの数を表します。

コマンド モード	管理者 (admin:)
	要件
	コマンド特権レベル：1
	アップグレード時の使用：可能
	適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection。

file fragmentation sdl file

このコマンドは、SDL ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

file fragmentation sdl file filename [verbose]

構文の説明	パラメータ	説明
	<i>filename</i>	SDL ログ ファイルのファイル名を表します。

パラメータ	説明
verbose	画面に関する詳細情報を表示します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection。

file fragmentation sdl all

このコマンドは、ディレクトリ内のすべての SDL ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

file fragmentation sdl all *filename*

構文の説明

パラメータ	説明
<i>filename</i>	すべてのフラグメンテーションの詳細を表示するファイル名を表します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection。

file get*

file get

このコマンドは、SFTP を使用して別のシステムにログを送信します。

file get {**activelog** | **inactivelog** | **install**} *file-spec* [{*reltimeabstime*}] [**match** *regex*] [**recurs**] [**compress**]

構文の説明	パラメータ	説明
	activelog	アクティブ側のログを指定します。
	inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
	install	インストール ログを指定します。
	<i>file-spec</i>	転送するファイルの名前を指定します。
	<i>reltime</i>	分数 時間数 日数 週数 月数 の時間の値で指定される相対時間の期間
	<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
	match <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
	recurs	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
	compress	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。
	tftp	

コマンドモード 管理者 (admin:)

使用上のガイドライン 指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例

この例では、オペレーティング システムの **activelog** ディレクトリ内で文字列「plat」に一致するすべてのファイルを取得します。

```
admin: file get activelog platform match plat
```

この例では、特定の期間内のすべてのオペレーティング システム ログ ファイルを取得します。

```
admin: file get activelog platform/log abstime 18:00:10/20/13 18:00:10/21/13
```

file get salog

このコマンドは、SFTP を使用して **partBsalog** または **salog** ディレクトリを別のシステムに送ります。

file get {**partBsalog** | **salog**} *file-spec* [{*reltimeabstime*}] [**match** *regex*] [**recurs**] [**compress**]

構文の説明

パラメータ	説明
partBsalog	partBsalog ディレクトリを指定します。
salog	salog ディレクトリを指定します。
<i>file-spec</i>	転送するファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数 時間数 日数 週数 月数 の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
match <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
recurs	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
compress	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file get tftp

このコマンドは、SFTP を使用して別のシステムに TFTP ファイルを送信します。

file get tftp *file-spec* [{*reltime**abstime*}] [**match** *regex*] [**recurs**] [**compress**]

構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	転送する TFTP ファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数 時間数 日数 週数 月数 の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
match <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
recurs	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
compress	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file list*

file list

このコマンドは、使用できるログ ディレクトリ内のログ ファイルをリスト表示します。

file list {**activelog** | **inactivelog** | **install**} *file-spec* [{**page** | **detail** | **reverse**}] [{**date** | **size**}]

構文の説明

パラメータ	説明
activelog	アクティブ側のログを指定します。
inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
install	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	ログ ファイルの名前を指定します。
page	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
detail	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
reverse	ソートの方向を逆にします。
date	ファイルを日付でソートします。
size	ファイルをサイズでソートします。

コマンド モード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン 要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例：ログ ファイルの詳細

この例では、オペレーティングシステム ログ ファイルの詳細がリスト表示されます。

```
admin: file list activelog platform/log page detail
```

例：CDR リポジトリ内のディレクトリ

この例では、CDR リポジトリ内のディレクトリがリスト表示されます。

```
admin: file list activelog cm/cdr_repository
```

例：サイズに基づく CDR ファイル

この例では、指定したディレクトリ内の CDR ファイルがサイズに基づいてリスト表示されます。

```
admin: file list activelog cm/cdr_repository/processed/20050812 size
```

file list salog

このコマンドは、partBsalog または salog ディレクトリをリスト表示します。

file list {partBsalog | salog} *file-spec* [{page | detail | reverse}] [{date | size}]

構文の説明

パラメータ	説明
partBsalog	partBsalog ログ ディレクトリを指定します。
salog	salog ログ ディレクトリを指定します。
<i>file-spec</i>	リスト表示するファイルへのパスを指定します。
page	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
detail	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
reverse	ソートの方向を逆にします。
date	ファイルを日付でソートします。
size	ファイルをサイズでソートします。

コマンド モード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file list tftp

このコマンドは、TFTP ファイルをリスト表示します。

file list tftp *file-spec* [{**page** | **detail** | **reverse**}] [{**date** | **size**}]

構文の説明	パラメータ	説明
	<i>file-spec</i>	TFTP ファイルの名前を指定します。
	page	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
	detail	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
	reverse	ソートの方向を逆にします。
	date	ファイルを日付でソートします。
	size	ファイルをサイズでソートします。

コマンド モード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file search*

file search

このコマンドは、ログの内容を検索し、一致した行を一度に 1 ページずつ表示します。

```
file search {activelog | inactivelog | install} file-spec [{reltimeabstime}] [ignorecase]
```

構文の説明

パラメータ	説明
activelog	アクティブ側のログを指定します。
inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
install	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	検索するファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数 時間数 日数 週数 月数 の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
ignorecase	大文字と小文字の違いを無視して検索します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン

検索条件は正規表現の形で記述します。正規表現とは、検索パターンを表す特殊なテキスト文字列です。

検索条件が1つのファイル内にのみ見つかった場合は、そのファイル名が出力の一番上に表示されます。検索条件が複数のファイル内に見つかった場合は、出力の各行の先頭に、一致が見つかったファイルの名前が示されます。

要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

file search tftp

このコマンドは、TFTP ファイルの内容を検索し、一致した行を一度に 1 ページずつ表示します。

```
file search tftp file-spec [{reltimeabstime}] [ignorecase]
```

構文の説明	パラメータ	説明
	<i>file-spec</i>	検索する TFTP ファイルの名前を指定します。
	<i>reltime</i>	分数 時間数 日数 週数 月数 の時間の値で指定される相対時間の期間
	<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
	ignorecase	大文字と小文字の違いを無視して検索します。
コマンドモード	管理者 (admin:)	
使用上のガイドライン	<p>検索条件は正規表現の形で記述します。正規表現とは、検索パターンを表す特殊なテキスト文字列です。</p> <p>検索条件が1つのファイル内にもみ見つかった場合は、そのファイル名が出力の一番上に表示されます。検索条件が複数のファイル内にもみ見つかった場合は、出力の各行の先頭に、一致が見つかったファイルの名前が示されます。</p> <p>要件</p> <p>コマンド特権レベル：0</p> <p>アップグレード時の使用：可能</p>	

file tail*

file tail activelog

このコマンドは、ログ ファイルをテイル（最後の数行を出力）します。

file tail {**activelog** | **inactivelog** | **install**} *filespec* [**hex**] [行] [**regexp** *expression*]

構文の説明	パラメータ	説明
	activelog	アクティブ側のログを指定します。
	inactivelog	非アクティブ側のログを指定します。
	install	インストール ログを指定します。

パラメータ	説明
<i>filespec</i>	ファイルへのパスを指定します。 filename では、1 つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。
hex	リストを 16 進数で表示します。
<i>lines</i>	表示する行数を指定します。
regexp <i>expression</i>	<i>expression</i> と一致するログ ファイルをテイルします。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例

この例では、オペレーティング システムの CLI ログ ファイルがテイルされます。

admin: file tail activelog platform/log/cli00001.log

file tail tftp

このコマンドは、TFTP ファイルをテイル（最後の数行を出力）します。

file tail tftp *filespec* [**detail**] [**hex**] [行]

構文の説明

パラメータ	説明
<i>filespec</i>	ファイルへのパスを指定します。 filename では、1 つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。
detail	日付および時刻を含む長いリスト
hex	リストを 16 進数で表示します。
<i>lines</i>	表示する行数を指定します。

コマンドモード

管理者 (admin:)

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file view*

file view

このコマンドは、ログ ファイルの内容を表示します。

file view {activelog/inactivelog/install} file-spec**構文の説明**

パラメータ	説明
activelog	アクティブ側のログ ファイルの内容を表示します。
inactivelog	非アクティブ側のログ ファイルの内容を表示します。
install	インストール ログ ファイルの内容を表示します。
<i>file-spec</i>	表示するファイルへのパスを指定します。1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。

コマンド モード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン**注意**

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例

この例では、アクティブ側の特定の CDR ログを示します。

```
admin: file view activelog /cm/cdr_repository/processed/20058012/{filename}
```

file view activelog

このコマンドは、ログ ファイルの内容を表示します。

file view activelog file-spec

構文の説明	パラメータ	説明
	activelog	アクティブ側のログ ファイルの内容を表示します。
	<i>file-spec</i>	表示するファイルへのパスを指定します。1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。

コマンド モード 管理者 (admin:)

使用上のガイドライン



注意

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。



(注)

このコマンドは大量の I/O を使用する可能性があり、実行するとシステムのパフォーマンスに影響する場合があります。このコマンドは、営業時間外で実行することを強く推奨します。

要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified Communications Manager、Unified Communications Manager の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

例

この例では、アクティブ側の特定のログを示します。

```
admin:file view activelog cm/trace/ccm/sdl/{filename}
```

file view inactivelog

このコマンドを実行すると、非アクティブ側のログの内容が表示されます。

file view inactive log {file-spec}

構文の説明

パラメータ	説明
file-spec	表示するファイルへのパスを指定します。 file-spec では、1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字*を使用できます。

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン



注意

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。



(注)

このコマンドは大量の I/O を使用する可能性があり、実行するとシステムのパフォーマンスに影響する場合があります。このコマンドは、営業時間外で実行することを強く推奨します。

要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM (IM and Presence あり)、Cisco Unity Connection

例

この例では、非アクティブ側の特定のログを示します。

```
admin:file view inactive log cm/trace/ccm/sdl/{filename}
```

file view system-management-log

このコマンドは、Integrated Management Log (IML) の内容を表示します。

file view system-management-log

コマンドモード

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン



注意

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection

file view tftp

このコマンドは、インストール ログの内容を表示します。

file view tftp *file-spec***構文の説明****パラメータ***file-spec* 表示するファイルへのパスを指定します。1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。**コマンドモード**

管理者 (admin:)

使用上のガイドライン**注意**

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection